

都市対抗野球大会 史上最多10回目の優勝について

JX-ENEOS野球部(監督:大久保 秀昭)は、昨日行われました第83回都市対抗野球大会決勝におきまして、JR東日本に6対3で勝利し、4年ぶりに、自らの持つ記録を更新する史上最多10回目の優勝を果たしましたので、お知らせいたします。

横浜市の代表として46回目の出場となったJX-ENEOS野球部は、決勝戦では、序盤にリードを許したものの、6回裏の山岡の劇的な3点本塁打で逆転すると、鶴田、大城、北原の継投によりリードを守りきり、見事勝利を収めました。本大会で最も優秀なプレーを続けた最優秀選手に贈られる橋戸賞には、大城 基志選手が選ばれました。

今後は、11月に京セラドーム大阪で行われる第38回社会人野球日本選手権での優勝による2冠を目指してまいります。皆様の温かいご声援をよろしくお願いいたします。

1. 今大会の成績

	日付	対戦チーム	スコア
1回戦	7月17日(火)	名古屋市・ジェイプロジェクト	2-1
2回戦	7月20日(金)	東京都・セガサミー	2-1
準々決勝	7月22日(日)	門真市・パナソニック	9-5
準決勝	7月23日(月)	東京都・NTT東日本	4-2
決勝	7月24日(火)	東京都・JR東日本	6-3

2. 決勝戦の様子



前人未到 V10達成の瞬間



決勝の3点本塁打を打つ山岡選手



橋戸賞を受賞した大城選手